

南相馬市三小学校の音楽鑑賞会

及びピアノコンサート『雨上がれ！FUKUSIMA』を開催

今回の南相馬市での音楽鑑賞会と相馬市でのピアノコンサート「雨上がれ！FUKUSIMA」は被災地の皆様に音楽を通じてお役に立つことができたらと望んでいたピアニスト（浅野稔子さん）と南相馬市立小高小の金谷先生の想いを、私達ボラ・ボラの会が橋渡しをすることになった企画です。

私達ボラボラの会は昨年から数度にわたって福島県の相馬周辺にボランティアに入っており、活動のおり佐藤さん（相馬市が故郷）の友人達と知り合い、また原発事故で避難区域とされた小高小学校の金谷先生とも知り合いました。

例年、小学校でPTA主催で行われていた音楽鑑賞教室が児童・父母らが避難をして生徒数が減り実施できませんでしたが、来年（平成24年度）は開催できればありがたいとの想いを伝えられたことから、この企画は始まりました。

6月7日（木）いつもの通り区役所前から出発。今回は南相馬市の一部避難区域の解除で小高地区に入れることから、早めに到着するように、全て早め早めの行動をとり現地へ。二本松ICで高速道路を降り、途中の町では行きかう人も以前とは違って普段通りになってきているように思えました。しかし飯館村に入ると人気はなく



飯館村公民館前の駐車場の放射線量

前回（12月第4回派遣時）白装束で放射能の除染を行っていた飯館公民館前で休憩を取り、放射能測定器（簡易式）で測定（地上）。3.26マイクロシーベルトを示し、非常に高く都内での30倍近くの放射線量となっており、これを下げなければ到底住むことは不可能と感じました。そこを後にして避難区域解除の南相馬市小高区へ。海に近いところへ行くと、津波で破壊されたままの状態があたりかしこに残っていました。その後プレハブ校舎に入っている三小学校へ挨拶に伺い、明日の会場の準備のためさくらホールへ。そして本日の宿舎に。夕食後、新地町で津波にあった西谷さ

んの体験談を聞く機会がありました。 ・ ・ 【体験談の抜粋】 ・ ・ ※私の職場（ギフトショップ）は海から約1.5kmの新地町役場の近くにあり、今回の地震で今まで落ちたことのない食器類がグラ



ットきた瞬間全て落ちてしまいました。また自宅では当時1歳3ヶ月の甥っ子を母が見ていたので、何かあれば逃げられないと思い自宅へ戻りました。自宅は職場から車で5分ぐらいの、海の近くの高台にあり津波が来るというのはほぼない所といわれていましたので安全を確認して、後片付けをするため職場に戻りました。片付けている最中に嫌な感じがして、周りの人に、ここに居ては危ないと話し再度自宅へ。何かあったら思いガソリンを入れに行く途中、ガソリンを入れてたら流されるかとも思い、通常は海の方から帰ると近いのですが、反対方面の裏の山の方に向かいました。坂道を上る途中、車の後ろに波が。どうして？

すると大きな車が流れていくんです。まずい！と思いました。急いで高台にある避難所に行きました。地区の人が多くいましたが皆薄着で、何も持っていなかったんです。当日は非常に寒い日で、周りに水が来てて、移動が出来ない状態になっていました。でも細い山道があることを知っていて、皆で町の総合体育館へ。ライフラインが全部だめで暖も取れなかったんです。それと友達は私が亡くなっていると思って、私も返事が返ってこなければやっぱり亡くなっていると思ったから、なかなか連絡できませんでした。また一度見に戻ったり着替えを取りに行った人が亡くなったと聞かされ、私は2度戻って助かった、罪悪感というか、何か複雑です。

メッセージ（浅野稔子さん）

福島でコンサートができる！ボラボラの会の佐藤さんからの話をいただいた時、ぜひ、やらして下さいと即答しました。

昨年5月に東京の品川教会で東日本大震災復興支援のチャリティーコンサートをいたしました。その時の記録として作成したDVDから、今回のお話につながり、とてもご縁を感じ、ありがたく思います。私自身も東京からの支援だけではなく、実際に福島に伺い、自分のピアノを通じて皆様に思いを伝えたい、という希望をずっと持っていました。

6月8日 【三小学校合同音楽鑑賞会】 開演の直前に晴天の空に逆さ虹（珍しい現象）が出ました。幸先よく音楽鑑賞会がスタート。虹のことを知った浅野さんは急きょオーバー・ザ・レインボーの曲から演奏。

当日の曲目 〔 ◎モーツァルトのトルコ行進曲 ◎アラベスク ◎ドビッシューのアラベスク
◎ベートーベンのトルコ行進曲 ◎エリーゼのために ◎ショパンの子犬のワルツ

「音の遊び」では生徒数名から好きな音階を上げてもらい、その音♪ド・ミ・ソ・ソ・ファ・ミ・ド♪の即興曲の演奏があり、そのフレーズも皆で歌いました。



皆で歌った曲目
◎ 3校の校歌
◎ さんぽ（隣のトトロから）
◎ ビリーブ
◎ 夏の思い出
◎ いのちの歌
◎ ふるさと



お礼の言葉: 小高小6年 大原一馬君 今日はおく達のためコンサートを開いていただきありがとうございました。ピアノで演奏していただいた「子犬のワルツ」がとても好きになりました。なかなか生で聞く機会がなかったので、今日はゆったりと落ち着いた気持ちになりました。皆で聞くのは楽しく元気になりました。ピアニストの浅野さん、大田区のボランティアの皆さん本当にありがとうございました。

6月9日（土）ピアノコンサート 雨上がれ！FUKUSMA】

第一部として原釜芸能保存会（昨年の大津波で構成員の半数程度が亡くなり存続が危ぶまれたが、今年5月の地元の祭りで復活）による「神楽の舞」、そして「観音畑の舞」を演じ笑いや喝采を浴びました。また地元のフラダンスグループによる子ども達のダンスや、「ブルーハワイ」など。最後に震災以降、心をこめて踊っている「未来へ」の曲が披露されました。観客から多くの拍手が鳴り止みませんでした。



原釜芸能保存会の観音畑の舞（ジジババ）



モアラ・ケ・アラ フラストジオの踊り

夏休み
に東北
に行こう。
現地を見
に行くこ
とによっ
て
何が
変わる
夏。



最後に全員で「ふるさと」を歌う・手話付

第2部として浅野さんによるピアノコンサートを開演。クラシック曲からポピュラーまで、特に地元の相馬盆歌をジャズ風に演奏すると漁師さん達が手拍子を取り喝采。楽しい演奏会でした。（音楽会の詳細、別に報告書があります、希望者は連絡を）

★今回の活動が6月10日（日）の福島民報新聞と朝日新聞福島版に載りました。★

☆私達ボランティアの会は、職員で構成されており自分達で出来ることを検討しながら、長期に渡って支援していこうと考えて活動しています。

☆給料日に東北の野菜販売等を組合事務所を借りて実施をしています。（収益はあしなが育英会に寄付します）

☆7・8月の野菜の販売は中止し、その他のものを注文販売いたします。

☆活動に興味ある方・入会を希望する方は連絡をお願いします。（月・水には会員が組合事務所をお借りして常駐しています。会費は無料、会則なし。会に入ると様々な情報をお送りします。）

◎連絡先 大田区職員労働組合気付（ご協力いただいでいて連絡先となっています）

大田区職員東日本大震災ボランティアの会（略称 グループ・ボラボラ）